

菊池市総合計画外部評価委員会 会議 要約記録

日時：平成 29 年 1 月 10 日（火）午後 1 時 30 分～

場所：菊池市役所本庁 3 階 第 2 委員会室

出席委員 5 名

上野眞也（会長）、山口法子、高木恵美、伊賀美和、橋本誠也

（次第）

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 政策企画部長挨拶
4. 会長あいさつ
5. 議事

1) 総合計画前期基本計画の評価について

- ・委員からの質問等については、部課長に対応してもらうため、資料の関連施策(部局)を考慮し、前期 3 年で目指す 10 の姿ごとに、「3 人を育む文教豊かなまち」、「4 魅力ある地域を育むまち」、「9 パートナーシップのまち」、「10 行財政改革による健全なまち」、「6 持続可能な循環型社会のまち」、「1 儲かる農業と癒しの観光のまち」、「8 住みやすさ日本一のまち」、「2 活力ある商工業が生まれるまち」、「7 安全で安心に暮らせるまち」、「5 支えあう安心社会のまち」の順序で審議を行う
- ・事務局説明は、施策順に「取組み」、「振返り」、「達成度」、「成果指標」、「指標の結果の分析」を簡潔に述べる。

以下、議事の要約

①目指す姿 3 人を育む文教豊かなまち

<質疑・意見及び回答>

○委員：菊池遺産散策コースの利用者はどのくらいいますか。

◆執行部：菊池温泉散策マップと泗水の散策マップの 2 種類を作っております。平成 28 年度からまさに実施をするという状況でございまして、利用者数については把握をしておりません。

○委員：菊池遺産散策コースは、ガイド付きで回ることができるものとは別ですか。また、パンフレットはどういったところで配布していますか。

◆執行部：フットパスとも一部重なっているところもありますが、こちらはガイド付きではございません。ただ、QR 動画が見れるようになっていて、これを持ってまわっていただくと動画で解説を見れるという工夫をしております。菊池遺産のガイドブックは、総合支所、教育施設等の市の関連施設、それと、各行政区、211 行政区の区長さんに配布をいたしております。そ

れと、夢美術館等、観光客が多い施設にも設置をしております。それと、東京菊池会にも送らせていただいております。全部で約 1,000 部を配布しています。

○委員：菊池遺産散策コースパンフレットを積極的に活用してお客さんが増えるようになればいいと思います。

○委員：学力向上に向けた各学校の取り組みについては、昨年も話題が出て大変関心があります。学校教育指導員の授業助言とか ICT の導入等をやっておられますが、学力向上推進班とかチーム等の取り組みはされていますか。

◆執行部：毎年度、学力向上の推進校の学校指定をし、2 カ年に亘ってより強い学力向上を目指す取り組みを行っています。その中で、各学校を重点的に指定し、市内 10 校の小学校と 5 校の中学校とそれぞれに魅力や特色ある学校づくりを進めております。更に、ICT 機器の導入につきましては、平成 26 から 27 年度の 2 カ年の事業で機器の導入を終えております。そうしたことから、本年度は、ICT 機器の利活用を促進するための研修プログラムを進めておりますが、まだ、その結果として学力向上の成果にまでは結びついておりませんので、現場の状況も鑑みながら、推進していきたいと考えております。

○委員：小学校までの学力は、標準より高いのに、なぜ中学校になったら標準以下になるのか、その原因について何か具体的なことが分かりましたか。

◆執行部：一つの要因としては、中学校になると部活動等に割く時間が増えてくるものですから、その影響で家庭学習の時間が減少しているのではないかと考えております。その解決のために「学習の手引き」を配布したり、保護者参観等においても啓発資料を説明し、更なる家庭学習の充実を図っているところでございます。

○委員：学力の問題について、学習以外の時間を多く過ごしても高校に行けるとか、何か環境的な要因で他の地域と菊池とで違うところがあるのですか。

◆執行部：一つとしては、地元の高校である菊池高校が、入試時の定員を満たしていないような状況がございます。地元の高校に対する住民意識も多少低下している部分があるという気がしております。

○委員：子ども以上に親の学びが大切だと感じます。県でも親の学びプログラム等をされていますが、一番参加して欲しい人たちの参加が少ないので、詳細なところまで、行き届くような働きかけとか、声かけとか、その伝え方のところを市でもやっていってもらいたいと思います。

◆執行部：本当に参加してもらいたい人が、なかなか参加できていないという状況ですので、これについても学校教育や家庭教育の中でも、広くそういう機会を増やすなり、必ず出席するというふうな保護者への理解と認識を広げていきたいと思います。

○委員：教育については地域の教育力というような、地域自体がもう少し教育に関心があるよ

うな機運が醸成できるとか、学ぶ機会に参加していただくためのもう一工夫を何かしていただけると、菊池の良さにさらに磨きがかかると思いました。

②目指す姿 4 魅力ある地域を育むまち

<質疑・意見及び回答>

○委員：ふるさと納税は、どのくらいコストがかかりますか。また、収入に対する返礼品の割合はどの程度ですか。

◆執行部：返礼品やクレジット決済、ポータルサイトへの委託をしておりますので、そういった委託料等も含めると、ふるさと納税の約半分くらいが市の方に残ります。

○委員：国際交流について、韓国との交流はなかなか難しいところがあるようですが、他の国との交流は考えておられますか。

◆執行部：台湾とは経済交流というかたちでお互いの行き来をスタートさせております。ただ、市民レベルで、具体的な検討を始めているわけではございません。まず、韓国との交流のあり方について何らかの打開ができないかという検討をしているところでございます。

○委員：ノルウェーのボートチームの合宿が決まっていたましたが、今後、交流を考えておられますか。

◆執行部：平成 28 年 10 月 10 日に熊本県、菊池市、ノルウェーのオリンピック委員会と日本のオリンピック委員会で調印式を行いました。今後、いろいろなかたちで交流の機会を持ちたいと考えておりますが、現時点で公表できるような具体的な準備は行っておりません。

○委員：菊池市の観光やビジネスにつながるような国際的なかわりを増やしていく施策は何かありますか。

◆執行部：友好都市というのは一つのきっかけにはしております。もっと広い意味でのインバウンド対策は行っております。

③目指す姿 9 パートナーシップのまち

<質疑・意見及び回答>

○委員：なぜ、審議会等における女性の登用率がこんなに下がっているのですか。評価については、一番分かりやすい成果指標ですし、どうかなという気がします。

◆執行部：ある委員会組織があったのですが、それが今まで漏れており、その分母が 200 くらい増えたことで下がったということです。また、成果を上げるために、市の方で、委員会等の規則等を定めるときに、「〇〇の長」という書き方ではなく、「代表者」という書き方をして女性の登用を進めているところです。

○委員：女性が立てない事情があるのかなと思います。菊池はやはり男尊女卑の傾向が強いように感じています。

○委員：女性の委員の登用をしていただくために、代表という書き方に変えるとおっしゃいましたけれど、それだけではなくて、一言口添えをして会に言って頂かないと、どうしても女性が出ていくのは難しいところがあるかなと思います。

○委員：男女共同参画でされる講習会はとてもいい内容ですが、参加したいと思っていても働いていて行けない方が多いですので、夜間や土日に受講できる機会を作っていただきたいです。

○委員：総合支所の支所化について、住民と行政とのスムーズなコミュニケーションを取るうえで何か工夫をされていることがありますか。

◆執行部：議員、区長、住民、職員への説明会をしながら、ご意見、ご質問をいただいてきたところです。また、市長と語る会で住民の声を聞くという取り組みも行いました。今後も住民の声を丁寧に聞いていくために総合相談員の設置等の準備をしているところです。

○委員：広報について、描写的なものはすごくいいなと思いますが、内容を見るといつもと変わらないという気がしますので、もう少し内容を濃くしていただきたいと思います。

④目指す姿 10 行財政改革による健全なまち

<質疑・意見及び回答>

○委員：経常物件費は小中学校 ICT 教育推進事業等で 100%を上回ったということですが、事業の財源は国庫補助とか特定財源とかはありましたか。

◆執行部：ICT 整備については、ちょうど更新の時期になり、新しい投資をしたということです。財源は単費ではありますが、一部について交付税措置です。

○委員：夜間窓口を設置して、納税相談を実施されたとのことですが、相談件数はどのくらいありましたか。

◆執行部：平成 27 年度は 254 件の相談がっております。

○委員：定員管理計画に基づいて職員数を減らされておりますが、非正規雇用の方が変わっているだけなのでしょうか。それとも、業務を削減されているのでしょうか。

◆執行部：市民の利便性が図れるようであれば、機械化と民間委託によって業務の効率化を図りたいと考えております。

○委員：ある小さな自治体では地域にとって市町村職員は非常に重要な雇用先なので一定の認められる資金で、最大限雇用できる人数を考えていくことを始めているところもあります。本

当に行政サービスにつながるのであれば職員の雇用は将来的に必要なだと思いますので、単にお金も人も削減することだけが成果ではないと思いました。

⑤目指す姿 6 持続可能な循環型社会のまち

<質疑・意見及び回答>

○委員：農地集積については、担い手等による借受が進む一方、農地に対する農家の思いが強く、小規模でも簡単には手放さない場合もあるようですが、農地集積の評価はどうとらえればいいですか。

○委員：農地集積について、基準値から 300 ヘクタールほど増えている一方、その後の予測は横ばいですが、これは耕作放棄地になっても貸してくれないという意味ですか。それとも自然の状態に戻すという意味ですか。あるいは、新たな農業者が出てきて、こういう集積をしなくてもやる方がいらっしゃるということなののでしょうか。

◆執行部：もともと農業委員会で、農地の斡旋業務をやっておりましたが、平成 26 年度から県のほうに農地中間管理機構ができました。農業をリタイヤされる方とか、経営規模を縮小する方が持たれている農地を中間管理機構を通じて担い手に貸すという制度ですが、それによって、若干ですが、利用権設定の面積も増えてきております。ただ、農地を貸したいという方はおられますが、誰でもいいというわけではございませんで、それが伸びていない理由です。知っている方であれば貸してもいいということになります。見ず知らずの方に貸すことに抵抗があられるということです。

○委員：せっかく県が中間管理機構をつくられたので、もう少しその先の貸し手のところまで、信用を得ていただけるような仕組みが、菊池市から提案されるといいと思いました。

○委員：菊池は、非常に清潔な菊池川の水とか環境を打ち出しておられますが、環境に関する取り組みの中で、どういった取り組みが一番難しいですか。

◆執行部：特にゴミ問題に関しましては、合併前の制度を引きずっており、ゴミの収集方法、分別方法は地域によって違う等の制度的な問題も含んでおり分別や適正な処理が決して全てうまくいっているわけではありません。ただ、今後ゴミ処理を統一化する方針ですので、徐々に新しい制度に移行していきたいと思います。また、ごみの不法投棄についても本市は観光地かつ山も多いですので、今後もパトロールに力を入れる必要があると思います。

○委員：環境型社会の推進については、バイオマスを用いたエネルギーシステムの導入をするかしないかを決定することなのですか。

◆執行部：市では再生可能エネルギーについて 3 つの点で検討をしてみました。1 つが畜産糞尿を活用したバイオマス。2 つ目が木質を活用したバイオマス。3 つ目が小水力発電です。その中で、現在、畜産糞尿についてのバイオマスを中心に検討しています。菊池は畜産王国と言われていいますように、畜産が非常に盛んですが、併せて畜産糞尿の量も非常に多いので、これをうまく活用して新しい畜産バイオマス発電ができないかということで検討しております。

す。これについては、今の技術上は十分可能であるという結論が出ております。ただ、実際施設をどこにつくるかとなると様々な調査が必要でして、農家、畜産農家等の意向調査を行い、今年度中に結果を出し、その結果に基づいて最終的な結果を出したいと思います。

⑥目指す姿 1 儲かる農業と癒しの観光のまち

<質疑・意見及び回答>

○委員：グリーンツーリズムの宿泊者数ですが、宿泊先はどういったところですか。

◆執行部：ふるさと水源交流館が主な宿泊先です。

○委員：民泊については認定されているところはまだないですか。また、今後増やしていく考えですか。

◆執行部：認定にいたっているところはありません。現在、行政主導ではなく民間主導でやっていただいております。民間レベルの協議会も立ち上がっております。スタートはごく僅かな数ですが、モニターツアーや勉強会を徐々に行い今後増やしていこうと思っております。

○委員：農業、観光とも順調に取り組みが進んでいて素晴らしいと思います。とりわけ農業の多い地域での実感として所得が増えているとか魅力のある仕事という考え方が増えてきているのでしょうか。

◆執行部：畜産については、枝肉の単価とか、素牛の単価が高くなりましたので販売額は増えていると思います。ただ、餌の値段も上がってきておりますので、農業所得の増加は僅かだろうと思います。新規就農者の増加については、青年就農給付金制度などの取り組みにより増加したのではないかと考えております。

○委員：菊池基準の成功事例として、具体的にはどんな事例がありますか。

◆執行部：まず、インターネットショップには菊池基準を持っていないと出品できません。また、販売イベント等をやる时候にも菊池基準を持っていないと出品できないということがございます。そういった積み重ねで菊池基準を持っていたほうがいいなという意識を農家に伝えていきたいと思っております。

○委員：菊池市外から来られる方にどこに泊まればいいのか相談された際、旅館等の特徴がなかなか分からず紹介が難しいのですが、パンフレット等はあるのでしょうか。

◆執行部：パンフレットはあります。ただ、パンフレットに掲載していますのは、温泉旅館組合に登録している旅館やホテルのみになります。

○委員：観光地として菊池の名前がどんどん成長して観光客がたくさん来ていただくのはいいのですが、宿泊施設のサービスが伴っているのかという心配があります。お客さんに対するサービス等のソフト面の向上を進めていただきたいと思います。

◆執行部：平成 28 年度になりますが、旅館等に対して覆面調査を入れております。調査の中で、ハード、ソフト面の様々な観点からランキングを出しており、結果については、旅館等と共有をし、少しでもサービスが充実するように、また、自覚を促すようにやっているところで

○委員：観光客の入込数ですが、傾向としてはどこの地域から来られる方が多いですか？

◆執行部：傾向としては、九州内、特に福岡からのお客様が多いです。要因として、車での距離についても 1 時間半で来れますし、本市の魅力である温泉、桜、溪谷等の情報発信に取り組んでいる結果だと思います。

○委員：菊芋チップスや菊芋茶等は、宿泊施設でも販売されているのですか。菊池の旅館に泊まったことがあります。知りませんでしたので、もったいないなと思いました。

◆執行部：菊芋チップスやお菓子類については菊池の観光物産館を中心にお買い物をしていただくというかたちで考えております。例えば、菊芋チップスであるとか、お茶であるとか好み

○委員：菊池の温泉はすごくいいと聞いていたのですが、お湯が熱くて子ども連れでは入りづらい気がします。温度の調整ができれば、子どもも入りやすい温泉になるのかなと思います。

◆執行部：お湯が熱い理由として、菊池温泉は源泉かけ流しであること、各旅館、ホテルが源泉を専用で掘っていることがあげられます。源泉かけ流しが魅力と考えておりますので、これを冷やすために水を混ぜることは考えられないです。ただ、配管をいくつか流しながら、お湯を冷ます方法等、温泉の温度を調整する機能をどうするというのは検討中でございます。また、泉質や温度の表示の仕方についても、工夫していきたいと思

⑦目指す姿 8 住みやすさ日本一のまち

<質疑・意見及び回答>

○委員：住みやすさ日本一と掲げられていますが、アンケートはとられていますか。その場合、できれば移住してきた方にアンケートを取るべきかと思

◆執行部：平成 25 年 10 月に市民 5,000 人を対象にアンケートを実施しております。回答は 1,649 名でしたが、そのうち住みやすいと感じておられる方が、34.8%いらっしゃいました。また、他所からの目線ということで、田舎暮らしを望んでいる方向けの雑誌『田舎暮らしの本』の調査で菊池は全国で 20 位にランクインされております。これを子育て世代に限定しますと、9 位というランクはいただいているところでござ

○委員：移住定住の促進について、登録が少ないとのことですが、空き家はとても多いと感じますので、情報をもう少し流してもいいのかなと思

○委員：空き家バンクを利用すると、菊池市にお持ちの財産をうまく活用できますよというような情報をもう少し出していけば利用登録も増えるのではないかというご意見もあるように思います。

○委員：不動産業の方といろいろ話をする中では、何年か経ってからいろいろな区切りで、ようやく家を手放そうとする方も多いようです。一度話をして断られたから終わりというのではなくて、少し間を置いて、長い期間で継続的に働きかける必要があるというふうに思います。

◆執行部：あくまでも個人の財産であるということが前提になりますので、十分説明をして斡旋しております。空き家については、ただ単に人が住んでいないだけで、中には荷物が残っていたり、仏壇があったりというケースが多々ありますので、地道に説明を続け、登録物件が増えるようにしたいと思います。また平成 28 年度からは固定資産税の納税通知書の中に、空き家バンクのご案内の文書を入れております。さらに、地域おこし協力隊による空き家調査をしており、今後も登録数の増加から移住へつながるよう取り組みたいと思います。

○委員：移住定住では、今年度は制度をつくるということが評価の項目であって、移住定住者が出てくるということは次年度以降の目標という捉え方でいいですか。

◆執行部：平成 27 年度についてはそうです。移住定住の実績数については、3 世帯 10 名がこの制度を使って移住して来られています。平成 28 年度は上半期で、11 世帯 27 名ということで、徐々に数値も伴ってきているというふうな評価をさせていただいております。

○委員：私は、住む場所を決めるときに合志とか大津とかいろいろ見たのですが、人の温かさが菊池が一番住みやすい気がすると思って菊池に決めました。子育てのサポートはすごく素敵だなと思います。

○委員：水道事業ですが、個人加入者を増やしていくというのが当面の目標ですか。また、ホテルや旅館、オフィスとか病院等の未加入が課題にはなっていないですか。

◆執行部：現状では、個人の方の加入促進を行っておりまして、ホテル等における課題はあがってはおりません。

⑧目指す姿 2 活力ある商工業が生まれるまち

<質疑・意見及び回答>

○委員：企業立地が進んでいますが、どんな分野の企業が多いのですか。

◆執行部：製造業が多いです。現在は、他にも、倉庫業、物流関係や製薬会社もあります。地震後、地震に強い地域ということと、将来のアクセス性の優位等から立地が多くなっております。これまでのように自動車産業関連業の一辺倒だけではない状況に変化してきております。

○委員：中心市街地については、温泉街とのつながりやまち歩きなどを通して、観光と一体となって考えていく必要があるというふうに思います。

◆執行部：中心市街地については、観光客が立ち寄ってみたいと思うお店がなかなか少なく、観光とつなげることについて、模索しております。空き店舗の中にお店を積極的に誘致していきたいと思いますが、居住一体型の店舗が多く、軒先だけを貸されるケースが少ない現状があります。その結果、駐車場になってしまうというような状況も見られますので、今後、観光地と商店街が隣接している特性の可能性も含めて検討する必要があると思っております。平成 28 年度は、軽トラ朝市と併せて「歩き愛です」という取り組みを始めるところで考えております。

○委員：どこの自治体も中心市街地、苦戦していて、だいたい取り組みは死屍累々ですよ。本当に中心市街地があるのかどうかと言われると、みんな見放しているのかもしれないですよ。完璧に見放され、駐車場なら駐車場になってしまったときに、少し大きな可能性が出るのかもしれないと思います。

◆執行部：商店の活性化については、様々な側面から考える必要があり、大規模店舗の進出も視野に入れ検討しているところです。大規模店舗が来れば市民の買い物環境についても利便性が高くなりますし、市外からの買い物客を中心市街地に呼び込める可能性も考えられます。今、商売をされている方々も希望を持ってやっておられますので、行政としましては、中心市街地の商業地の活性化は離せない事業と考えています。

○委員：市の制度融資の利用が非常に低いですが、この理由は制度が魅力的ではないのか、事業者の意欲が低いのか、何か理由があるんですか。

◆執行部：一昨年は利用が多かったのですが、昨年は 0 になっております。理由としては、ゼロ金利時代になりまして、各金融機関も独自の路線で様々な商品をつくられておりますが、市の制度融資がそのスピードに対応できていないということです。市の制度融資の中身も検討しながら、止めるのか、あるいはさらに困っている事業者がいて、さらに有利な制度を構築するのか、その岐路に立たされているところでございます。

⑨目指す姿 7 安全で安心に暮らせるまち

<質疑・意見及び回答>

○委員：防災について、熊本地震の対応はどうでしたか。課題等ありますでしょうか。

◆執行部：現在、熊本地震の検証を各部各課において洗い出しを行っているところでございます。それと併せて、広報誌や HP 等で地震に関する市民の意見をいただき、それを勘案しながら、今後の災害への備えや組織、施設等の整備も含めまして、検討しているところでございます。また、自主防災組織も地域リーダーが必要な条件でございますので、地域リーダーとしての防災士の育成を今後進めてまいります。

○委員：自主防災組織は熊本地震のときに機能しましたか。

◆執行部：自主防災組織をつくっていたものの、実際動かすことができなかったというところもあります。うまく機能したところでは、地域にいらっしゃる保健師さん等の人材を組織の中

に入れておられ、区の中での情報伝達、被害状況の報告とかがスムーズにいったというお話を聞いております。

○委員：防災については、率先して動ける女性のリーダーをこれからたくさん増やしていったほしいと思います。また、自主防災訓練はしていなかった地域が多かったようですので、もっと訓練をこれからしていかなければならないということを感じております。

◆執行部：避難所等に女性の視点が必要であったとの反省から、女性の防災リーダーも増やしたいと考えております。実際、女性の防災士受講希望者も増えております。自主防災訓練等についても今後積極的に実施していただきたいと思います。

⑩目指す姿5 支えあう安心社会のまち

<質疑・意見及び回答>

○委員：特定健診の目標値の35%は、類似の自治体と比較すると高いですか、低いですか、同じくらいですか。菊池が他より低い場合、何か地域特性とかかわっているのでしょうか。

◆執行部：類似自治体の平成26年度の実績値は、合志市が31.7%、玉名市が34%、天草市38%、八代市が32.8%、山鹿市が38.1%です。他市に比べ本市が低い要因としては、対象者である国民健康保険の被保険者のうち、病院で治療中である方の多くが病院にかかっているから大丈夫だという判断を自分でされているというふうに分析しております。その対策として、菊池市内の医療機関に、医師会を通じて、特定健診の受診を重点的に呼びかけています。また、病院にかかっている方の中で、特定健診の項目を満たした療養をしている人たちについては、特定健診を受診したものと見なそうというところで、病院との情報共有を進めているところです。

○委員：評価内容を見ると、菊池での子育ては魅力的だと感じます。医療機関の小児科関係のネットワークの成果は昨年までの指摘を受け取り組まれた成果が出ているということですね。

◆執行部：はい。それと、県が中心となって進めています小児救急電話相談制度が浸透してきていると思っています。また、併せて日本赤十字病院が車で40分圏内にあるという意味でも、菊池は恵まれているところではないかと思います。

○委員：子育て支援の充実で、高校生が一番お金が必要な時期ですので、医療費の無償化をできれば頑張ってほしいと思います。

◆執行部：菊池市は周辺自治体に比べれば、子育て、医療費に対する支援は先行しています。小学校6年生までは、窓口自己負担は通常3割程度ですが、それも免除しています。中学3年生までは、通院で1,000円、入院で2,000円という月の自己負担の金額を決めており、それを超えた分についてはお支払いした分をお返しするということをしています。ただ、高校までとなると、財源をどこから持ってくるのかという問題がございますので、検討中でございます。

○委員：乳がんの健診について、マンモグラフィーとエコー検査とありますが、市によっては検査した際、検査に関する情報を丁寧に説明してくださるところもあるようです。女性の病氣

で一番怖いものだと思うので、そういう情報提供の取組みが菊池でもされるといいなと思いました。

◆執行部：厚生労働省の発表等によりますと、基本的にはエコー検査とマンモグラフィーを併せてやったほうが、ベターという所見が出ています。そういった情報提供は受診の際、お話はしております。

○委員：低所得者の福祉の充実について、どれくらいの方を最終セーフティーネットの前段で止めることができたのか、相談件数を教えてください。

◆執行部：就労関係で対象になる方が64名おられます。そのうち、実際に平成27年度に就労された方が25名おられます。

○委員：新しい取り組みで大変難しい事業だと思いますが、生活保護になれますと、それで支出が増えますので、引き続き頑張ってくださいと思います。

2) 答申（案）について

<質疑・意見及び回答>

○委員：総評的な意見や重要な事項に対する個別の意見については、改善を図ること。

○委員：答申書(案)については、本日委員からいただいた意見を整理し作成し、会長の確認後、委員へ確認をし、答申する。(委員了承)

◆執行部：今後の、スケジュールとしては2月2日に市長への答申を行う。

3) その他

特になし

5. 閉会

以上